

令和2年度 教育委員会点検・評価報告書
【令和元年度事業】

令和3年1月
西予市教育委員会

－目 次－

はじめに	1
I 令和元年度（平成 30 年度事業）学識経験者の意見への対応状況	2
II 西予市教育振興基本計画（平成 28 年 3 月策定）について	5
III 西予市教育委員会の点検・評価について	7
IV 点検・評価結果	
IV-1 教育委員会の活動状況	9
1 委員選任状況	9
2 会議開催状況	9
3 委員会議以外の活動状況	11
4 主な活動実績一覧	12
IV-2 施策別の点検・評価結果	15
1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧	15
2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果	16
重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	
(1) 確かな学力の育成	16
(3) 健やかな体の育成	20
(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	22
(5) 特別支援教育の充実	23
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	25
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	26
(10) よりよい教育環境づくりの実現	27
重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進	
(1) 生涯学習の推進	30
(2) 公民館活動の推進	32
(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	38
(4) 人権・同和教育の推進	40
(5) 図書館活動の推進	42
重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	44
(2) 文化の振興	49
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	55
重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	57
V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性	60

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）（以下「法律」という。）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされました。そして、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が法律の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成18年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成26年3月に策定しました。その後、教育委員会では、この基本計画の一部改訂を令和2年6月に行っておりますが、今回の事務の管理及び執行の状況の点検・評価にあたっては、令和元年度の教育委員会事業を対象としていますので、改訂前の基本計画の項目に合わせて行っています。

今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、教育委員会が点検・評価した結果を報告書としてまとめましたので、ご覧いただきご意見、ご要望をお寄せいただくことで、よりよい教育の実現をめざして、取り組みを進めてまいります。

令和 3 年 1 月

西予市教育委員会

I 学識経験者の意見への対応状況

平成 30 年度事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、令和元年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見（平成 30 年度事業）	対応状況 （令和元年度の取組）
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	
<p>(1) 確かな学力の育成</p> <p>①過去の経緯もあると思うが、現在の事業の方向性（募集定員等）はどうなっているのか。また、派遣生徒が他の生徒へ還元する機会をもうけているのか。本事業は個人負担もあるなかで成果ばかりに重きを置くのはいかがなものか。こういった経験をするのも大事ではないか。（生徒国際交流事業）</p> <p>②事業に関し地域に良い影響が出ているので、今後も見守って行きたい。（小学生夢チャレンジサポート事業）</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>①事業の方向性としては、平成 30 年に増員した 18 人定員を維持したが、13 人の応募であった。各中学校のクラス活動や文化祭において海外派遣報告を行い、下級生に報告することで、次年度以降の応募者の意欲につながっている。事務局として海外派遣前に十分な事前研修をおこない現地でより良い経験ができるよう努めた。</p> <p>【担当：教育総務課】</p> <p>②惣川小学校の「夢」が選ばれ、東京の片男波親方に会いに行く夢が実現した。親方の話を聞く、本物を見るという体験を通し、将来の夢を持つこと、夢に向かって頑張りぬくことの大切さを学んだ。児童たちの将来の夢の実現に役立っている。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
<p>(3) 健やかな体の育成</p> <p>③食物アレルギーの子どもや調理員の健康管理について配慮していただきたい。（せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業）</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>③（公財）日本学校保健会「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」による対応を基本とし、学校生活管理指導表による学校・家庭・給食調理場・消防署との連携を図っている。完全除去を基本とし、除去・代替・弁当（全部・一部）持参等の対応を行っている。</p> <p>調理員は、毎日時間内に安全・安心な調理を行わなくてはならず、心身ともに負担のかかる業務である。働きやすい施設・設備の整備と風通しのよい職場環境づくりに努めている。</p> <p>【担当：学校教育課】</p>

<p>(7) 安全・安心な学校づくりの推進</p> <p>④青パトへのメール配信をお願いしたい。(不審者情報メール配信事業)</p>	<p>評価結果<順調></p> <p>④令和元年度から新しいメール配信システムを稼働している。学校ごとに学校関係者(青パトの方等)のメール登録が可能となっている。 【担当:学校教育課】</p>
<p>(10) よりよい教育環境づくりの実現</p> <p>⑤小中学校の空調設備はどうなっているのか。(小中学校施設整備事業)</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>⑤空調設備を整備する小中学校 16校のうち、14校について、令和元年度末までに設置できた。残り2校については、令和2年5月の工事完了を目指し取り組んだ。 【担当:教育総務課】</p>
<p>2 ライフステージに応じた社会教育の推進</p>	
<p>(1) 生涯学習の推進</p> <p>①家庭教育・子育て応援活動の相談業務について、相談員の性別や年齢層を幅広く設定し、相談しやすい環境に配慮してほしい。併せて周知も行ってほしい。(家庭教育支援事業)</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>①相談員は元教員や子育て中のママなど30~60代が対応している。電話やメールでの相談受付のほか、学校の個別懇談日の相談窓口設置やママカフェを定期的実施し、子育て中の方の声を聞く機会を作っている。市内の幼保・小中学校へのリーフレットの配布や子育てLINEでの情報発信など周知も随時行った。 【担当:生涯学習課】</p>
<p>(2) 公民館活動の推進</p> <p>②社会教育団体は諸問題により衰退の可能性があるが、働きかければ動く団体なので配慮をお願いしたい。(社会教育団体育成事業)</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>②社会教育推進事業補助金を交付することにより、自主・自立を促すとともに、新規会員の加入に向けた団体活動内容の周知や、マンネリ化しつつある事業の見直しなどについて助言等を行った。 【担当:生涯学習課】</p>
<p>(4) 人権・同和教育の推進</p> <p>③合併前旧町のノウハウを生かしボトムアップされるべきであると考えられるが、一般的事務事業に落ち着いているように感じられる。 3町のみで実施されているが、後の2町は必要がないということではない。 各町のやり方はまちまちで難しいかもしれないが、一本化するところは一本化して、市民が平等に教育や研修を受けられる体制づくりに努めてほしい。(人権のつどい事業)</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>③人権のつどいにおいて、宇和、野村、城川で実施。次年度に明浜でも実施予定。三瓶では、旧町時から人権教育通信講座を実施し、意見集にまとめ配布することで人権啓発活動の充実に努めている。今後も、人権三法を踏まえ、様々な人権問題を提供できるよう取り組み、また、人権研究大会等、市内一本化による実施を目指したい。 【担当:生涯学習課】</p>
<p>(5) 図書館活動の推進</p> <p>④図書予算が少ないのではないか。 家庭にある本を再利用できないものか。市民に周知してはどうか。(図書館活動の推進(施策))</p>	<p>評価結果<概ね順調></p> <p>④図書購入費100万円を次年度予算に計上することとした。また、寄贈図書は順調に増加しており、「家庭にある本の再利用」の推進についても順調である。しかし、一度寄贈いただいた図書も「リサイクル」に回す場合が多く、図書館が必要とする図書を寄贈で補うには限界がある。 【担当:生涯学習課】</p>

3 人生を豊かにする文化芸術の振興	
(1) 文化財の保護と活用	評価結果<順調>
<p>①先般の首里城のこともあるが、文化財を守っていくのは大変だがお願いしたい。(文化財保護推進事業)</p> <p>②文化的景観保護推進事業はこれからが本格的か。(文化的景観保護推進事業)</p>	<p>①文化財は、火災等によりいったん焼失し損ずれば、再び回復することができないかけがえのない国民共有の財産である。この貴重な文化財を後世に継承するため、日常の維持管理を含めて、適切な管理が不可欠である。市では文化財の所有者・管理者、地域の皆様に、日頃から見回りなど火気の管理、消火器や消火栓の場所や使用方法を把握しておくなど、文化財の防火について十分留意いただくよう令和元年11月に通知を行った。また、毎年1月の文化財防火デーに合わせて消防署と所有者等で防火訓練を実施している。</p> <p>②平成31年2月に選定された「宇和海狩浜の段畑と農漁村景観」は、今後策定した保存計画、景観計画、整備計画を基に将来にわたり適正に継承するため、継続的に保存と活用に努める。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
(2) 文化の振興	評価結果<概ね順調>
<p>③決算が1,700万円となっているが、高額ではないか。(全国かまぼこ板の絵展覧会事業)</p>	<p>③令和元年度は展覧会を122日間開催し、来館者数は前年度と比べ468人増の6,585人、入館料収入も約13万円増の155万円という実績だった。今後、西予市独自の文化である「かまぼこ板の絵」を継承していくためには、費用対効果の面も考え、発信手法の工夫による経費削減や、地域との連携により入場者増に結び付ける新たな施策を検討していく。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	
(1) スポーツの普及・推進	評価結果<概ね順調>
<p>①全国大会の懸垂幕は励みになり評価できる。(スポーツ施設の整備・充実)</p> <p>②将来的に、温水プール建設の予定はないか。水泳をやりたい子どもが市外に出ていく。ひとつ核になるものを作れば、そこから派生するものがあるのではないか。リハビリとして活用する方法もあり、健康増進に寄与できるのではないか。</p>	<p>①全国大会に出場する個人や団体に対して報奨金を支給している。また、中高生に対しては懸垂幕等を掲出することにより、選手激励と更なる競技力の向上に繋げていく。</p> <p>②施設建設費、将来にわたる維持管理費、当市における財政状況、また、市外のスイミングスクールに通う市民の調査結果を考慮し、現時点では温水プール建設予定はない。</p> <p>【担当：スポーツ・文化課】</p>

II 西予市教育振興基本計画（平成28年3月策定）について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、幼児・児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

○基本目標：夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」を育む 学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実 ②学校と家庭、地域との連携 ③ICTの活用と情報教育の推進
	(2) 豊かな心の育成	①道徳の時間の充実 ②互いの関わりを大切に集った集団活動の充実 ③いじめ根絶に向けた取組の充実 ④情報モラル教育の充実 ⑤家庭や地域と連携した活動の充実
	(3) 健やかな体の育成	①体力の維持・向上 ②基本的生活習慣の定着 ③地産地消による食育の推進
	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	①特色ある学校づくりの推進
	(5) 特別支援教育の充実	①個に応じた支援の充実 ②生活支援員の配置
	(6) 人権・同和教育の推進	①人権・同和教育の充実 ②いじめや不登校への対応
	(7) 安全・安心な学校づくりの推進	①防災教育の推進 ②学校や地域の安全確保の推進
	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②研修活動の充実 ③学校組織の活性化
	(9) 幼稚園教育の充実	①充実した幼児教育の提供 ②子育て支援の充実
	(10) よりよい教育環境づくりの実現	①公立学校の再編推進 ②放課後の子育て支援 ③校舎の改築及びICT設備の整備等 ④小中一貫教育の検討

○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた 社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体の育成と連携 ③西予市結婚推進委員会の取組
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の推進	①読書活動の普及啓発 ②図書館サービスの充実
3 人生を豊かにする文化 芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承、次世代を担う人材の育成 ②文化芸術、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化 施策の推進	①古代ローマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存 計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進 ④文化的景観保護推進事業の推進
4 健やかな心と体をつくる 生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) えひめ国体の推進	①競技スポーツの振興と人材育成 ②関係施設の整備・充実

Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象、実施期間

(1) 点検・評価の対象

- ・令和元年度における教育委員会の活動状況
- ・令和元年度における教育委員会の取組施策

(2) 点検・評価の実施期間

令和 2 年 7 月～令和 2 年 12 月

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

(2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任する学識経験者 3 名から評価会議で意見を伺います。

氏 名	団体・役職名
中橋 治彦	元公立学校長
増田 敬介	元市役所職員
大塚 晶司	元社会教育委員長

4 自己点検・評価の構成

(1) 施策の評価（A表）

「施策の体系」の表に示した 21 の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を次の表 1 の区分により総合的に評価します。

(表 1)

順	調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順	調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※6 ページ施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額 (千円)	令和元年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、21の施策の中で設定した11の成果指標の達成状況を下記表2の区分により評価し分析しています。

(表 2)

A：達成済
B：概ね達成
C：未達成
D：不明

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表2の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	令和元年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成24年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする平成30年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画における令和元年度時点の値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

IV 点検・評価結果

IV-1 教育委員会の活動状況

1 教育長及び委員任命状況

(令和元年6月10日現在)

職	氏名	性別	職業	任期	通算在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
教育長	松川 伸二	男	公務員	H31.6.10 R4.6.9	1		常勤
職務代理者 教育長	樋口 美和	女	会社員	H28.6.10 R2.6.9	3	H31.6.10 ～ R2.6.9	非常勤
委員	平岡 長治	男	無職	H29.6.10 R3.6.9	6		非常勤
委員	古谷 和彦	男	無職	H30.6.10 R4.6.9	2		非常勤
委員	酒井 郁子	女	無職	R元.6.10 R5.6.9	1		非常勤

※教育長の任期は3年間

※教育委員の任期は4年間

※教育長職務代理者の任期は1年

2 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

定例会	12回
臨時会	1回
案件	28件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
4月25日 定例会	西予市教育委員会通学区域規則の一部を改正する規則制定について
	西予市通学費補助金交付規則の一部を改正する規則制定について
	西予市歴史民俗資料館及び郷土文化保存伝習施設条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市社会教育委員の委嘱について
5月28日 定例会	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市教科用図書選定委員会委員の委嘱及び任命について
7月23日 定例会	西予市宇和文化会館利用規則の一部を改正する規則制定について
8月27日 定例会	令和2年度使用小学校教科用図書の採択について
	令和2年度使用中学校教科用図書（特別の教科 道徳を除く）の採択について
9月24日 定例会	西予市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	西予市営プール条例施行規則の一部を改正する規則制定について
12月24日 定例会	西予市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則制定について
	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
2月25日 定例会	西予市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について
3月24日 定例会	西予市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について
	西予市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市公立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
	西予市外国語指導助手任用規則を廃止する規則制定について
	西予市社会教育指導員の服務規則を廃止する規則制定について
	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館分館長の任命について
	西予市公民館分館主事の任命について
	西予市図書館交流館長の任命について
	西予市図書館協議会委員の任命について
	西予市文化財保護審議会委員の委嘱について

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

・令和元年度 傍聴人 5人

3 委員会議以外の活動状況

教育長及び教育委員は、教育委員会議への出席以外に、市議会、学校訪問の他、各種行事等へ出席しました。（詳細は、4 主な活動実績一覧を参照）

- ① 議会関係・・・・・・・・定例会（4回）、臨時会（1回）
- ② 学校訪問・・・・・・・・小学校（12校）、中学校（5校）
- ③ 各種行事・大会・・・・・・・・ 86回
- ④ その他の行事・・・・・・・・ 34回

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問	その他
4	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・市新任式 ・市内小学校入学式 ・市内中学校入学式 ・市内県立学校入学式 ・市連合婦人会総会 ・市所属部会総会 ・南予教育事務所管内校長研修会 ・市公民館連絡協議会総会 ・市公民館職員研修会 ・四国都市教育長連絡協議会 ・西予市図書交流館落成式 		八幡浜街道笠置峠越ミニウォーク
5	定例会 (1)	臨時会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霧湖マラソン大会 ・市青少年育成協議会総会 ・朝日文楽保存会総会 ・市育英会理事会 ・市PTA連合会総会 ・県市町教育委員会連合会理事会 ・市内小学校運動会 ・管内市町社会教育課長等会 ・えひめ教育の日推進協議会 ・県市町教育長会議 ・市スポーツ推進委員協議会総会 ・管内市町教育委員会連合会総会 ・県人権教育協議会西予支部総会 	中川小 明浜中 三瓶中 田之筋小	
6	定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・市中学校総合体育大会 ・市中学校陸上、水泳競技大会 ・市愛護班連絡協議会総会 ・教育委員会協議会 ・市教育支援委員会 	惣川小 大野ヶ原小 多田小 野村小 野村中 宇和中 明浜小 皆田小 三瓶小	

7	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・各支部小学校水泳記録会 ・夢チャレンジ審査会 ・県教育委員会連合会総会 ・全国「かまぼこ板の絵」展覧会表彰式 ・開智・開明姉妹館提携交流出発式 	宇和町小 石城小 城川小 城川中	平成 30 年豪雨 西 予市追悼式
8	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒国際交流事業（ニュージーランド）結団式、解団式 ・市校長会研修会 ・市人権のつどい 		西予市民体育祭 市政懇談会
9	定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・中四国公民館研究集会 ・市内中学校運動会 ・市内小学校運動会 ・重要文化的景観選定記念シンポジウム ・市社会教育委員会 		市政懇談会
10	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・三瓶小下校時地震津波避難訓練 ・南予社会教育行政担当者研修会 ・市中学校新人体育大会 ・市小中学校長会研修会 ・市内小学校陸上記録会 ・県公立小中学校事務研究大会 ・えひめ教育の日推進大会 ・西予婦人大会 ・市教育委員会研究大会 ・市人権推進委員会研修会 ・第 1 回市総合教育会議 		市政懇談会 城川オリンピック
11	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・宮中雲子音楽祭 ・県小中学校長研究大会 ・点検・評価有識者会議 ・乙亥大相撲 ・各町文化祭・芸能祭 ・市内小中学校音楽発表会 		・西予市戦没者追悼 式
12	定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国人権、同和教育研究大会 ・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・県文楽合同公演大会 ・文化的景観保護審議会 ・市人権のつどい（野村会場） ・市駅伝競走大会 		・市仕事納め式

1	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・市成人式 ・管内市町教育長会議 ・各町駅伝競走大会 ・小学生夢チャレンジサポート事業 ・南予管内市町等教育委員会連合会研修会 ・通学路安全推進担当者連絡会議 		・市仕事始め式
2	定例会 (1)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育南予ブロック会議 ・子規の俳句とかまぼこ板の絵展 ・文化的景観保護審議会 ・市小中学校校長会研修会 ・市小中学校教頭会研修会 ・各町駅伝競走大会 ・3高校合同プロジェクト発表会 ・学校体育会理事会 ・市歴史文化講演会 		・市消防出初め式
3	臨時会 (1) 定例会 (1)	定例会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内県立学校卒業式 ・市内中学校卒業式 ・市内小学校卒業式 ・市内幼稚園卒園式 ・市社会教育委員会 ・市歴史文化講演会 		・退任式
合計	臨時会 (1) 定例会 (12)	臨時会 (1) 定例会 (4)	86回	小学校 (12) 中学校 (5)	34回

IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	評価	事務事業等	成果指標	達成状況
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 確かな学力の育成	概ね順調	①推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
			②学校と家庭、地域との連携		
			③ICTの活用と情報教育の推進		
	(2) 豊かな心の育成	概ね順調	①道徳の時間の充実		
			②互いの関わりを大切にされた集団活動の充実		
			③いじめ根絶に向けた取組の充実		
			④情報モラル教育の充実		
			⑤家庭や地域と連携した活動の充実		
	(3) 健やかな体の育成	概ね順調	①体力の維持・向上		
			②基本的な生活習慣の定着		
(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進	概ね順調	③地産地消による食育の推進			
		①特色ある学校づくりの推進			
(5) 特別支援教育の充実	順調	①個に応じた支援の充実			
		②生活支援員の配置			
(6) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①人権・同和教育の充実			
		②いじめや不登校への対応			
(7) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①防災教育の推進			
		②学校や地域の安全確保の推進			
(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	①市所属部会、市教育研究大会の充実			
		②研修活動の充実			
		③学校組織の活性化			
(9) 幼稚園教育の充実	概ね順調	①充実した幼児教育の提供			
		②子育て支援の充実			
(10) よりよい教育環境づくりの実現	概ね順調	①公立学校の再編推進			
		②放課後の子育て支援			
		③校舎の改築及びICT設備の整備等	・耐震化率	A	
		④小中一貫教育の検討			
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	①生涯を通じた多様な学習機会の提供		
	(2) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催回数	C
			②社会教育関係団体の育成と連携		
			③西予市結婚推進委員会の取組		
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	概ね順調	①青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数	B
			②家庭、地域の教育力の向上	・移動補導センター回数	B
③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進					
(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①学習機会の拡充と啓発活動の充実			
		②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成			
		③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実			
(5) 図書館活動の推進	概ね順調	①読書活動の普及啓発	・利用者数（図書を借りた人数）	A	
		②図書館サービスの充実	・利用者数（図書を借りた人数）	A	
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・文化財を見に行ったことのある人の割合	D
			②文化財の継承と次世代を担う人材の育成	・文化財を見に行ったことのある人の割合	D
	(2) 文化の振興	概ね順調	①文化の継承、次世代を担う人材の育成		
			②文化芸術、生活文化の振興	・芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合	D
(3) 文化活動の環境と基盤の整備	概ね順調	①文化施設の整備・充実	・施設や展示物の満足度	D	
		(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	概ね順調	①古代ロマンの里構想の推進	
②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進					
③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進					
④文化的景観保護推進事業の推進					
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興	(1) スポーツの普及・推進	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援	・市民の週1回以上のスポーツ人口率	B
			②スポーツ施設の整備・充実		
(2) えひめ国体の推進	概ね順調	①競技スポーツの振興と人材育成			
		②関係施設の整備・充実			

2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

施 策	(1) 確かな学力の育成
評 価	概ね順調
評 価 に 対 析 す る 分	<p>学力向上推進計画に基づいて平成29年度から実施している学び場事業も年々利用者が増え、主体的に学習に取り組む児童生徒の育成に効果が出ている。</p> <p>令和2年度からの小学校外国語の教科化を見据えて9月よりALTを1人増員し、英語教育の充実に向けて準備をすることができた。各種事業の目的に照らし、国際理解教育の推進やグローバルな視野を養う視点での改善、充実が必要である。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担 当 課	教育総務課	決算額 (千円)	9,009
取 組 事 業	生徒国際交流事業		
事業内容 実績 課題・今後の方向性	<p>【事業内容】</p> <p>国際化時代にふさわしい人材を育成するため、生徒をニュージーランドへ派遣する。派遣までに事前説明会・事前研修を実施して、ホームステイの予備知識、研修目的などの徹底を図る。派遣先ではホームステイをしながら、語学学校への短期入学や現地学校に2日間訪問し、体験授業などを行う。</p> <p>【実績】</p> <p>8/5～8/16(12日間)市内の中学3年生13人を選考し(作文・面接等で意欲を確認)ニュージーランドへ派遣した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>生徒は参加したことで自己表現力や協調性、英語理解力の面で向上が見られた。国際感覚と広い視野を持った次代を担う人材(リーダー)に育ち、いろいろな場で生かすことができている。</p> <p>西予市代表として参加する生徒の目的意識や意欲がなければ、単なる体験となってしまう可能性があるため、学力の向上につながるよう研修の目的を理解させ海外派遣する必要がある。</p>		



現地学校での交流授業



マオリ式あいさつの様子

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	762
取組事業	小学生夢チャレンジサポート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内の小学6年生の学級又は学校(小規模校)に対して夢を募集して、応募された「夢」から実現する夢を選定し、必要に応じて団体等がサポートして児童たちの夢を実現する。</p> <p>【実績】 募集対象学校・学級数：12校、16学級 応募学校・学級数：7校、10学級 実現した夢：1事業(惣川小学校「夢をかなえた先輩(片男波親方)に会いたい」 夢の内容：ふるさと学習、乙亥相撲参加、両国国技館での親方の仕事ぶりと大相撲の観戦、相撲部屋見学とインタビュー</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 児童が持つ夢を叶えるために、自ら考え実行する力を身につけることができた。児童からも今回の経験を通して、「やればできる」気持ちが大切と感想を得られた。 また、応募数は、昨年より3件増加し向上したが、次年度の募集では、選定基準等を見直し、より多くの子どもたちが夢実現への行動力を身につけられるよう工夫する。</p>		



片男波部屋でのお礼のあいさつ



片男波親方、玉鷲関との記念撮影

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	26,202
取組事業	語学指導外国青年招致事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 JETプログラム指導者4人(9月から5人)と委託外国人指導者1人が、小・中学校において、外国語活動や英語授業の補助的指導者となって英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を図る。</p> <p>【実績】 中学校には概ね週2、3日、小学校には週1、2日程度の勤務体制をとった。各学校長による勤務状況評価によると、6人ともに勤務状況、指導の状況、勤務態度の全てで良好であった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 外国語でのやり取りを通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力等を育成するために、ALTは貴重な役割を果たしている。令和元年度9月よりALTを1名増員し、令和2年度からの小学校学習指導要領全面实施による小学校3・4年生の外国語活動、5・6年生の英語科の導入に向けて対応することができた。</p>		

(B表)

事務事業等	① 推進計画の策定と一人ひとりに応じた学習の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	1,978
取組事業	地域子ども学び場事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学力向上に向けた取組みの一環として、市内の児童の希望者に対して学習支援を行う環境を整備する。名称を「学び舎」とし、教員OBを中心とした地域指導者を活用して、毎週土曜日の午前中を基本として学習会を実施する。</p> <p>【実績】 令和元年度は5会場で計161回(平成30年度161回)開講し、延べ1,428人(平成30年度888人)の児童が参加した。※新型コロナウイルス感染症の影響で2月末以降は休講。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 「学び舎」の認知度が高まり、年々参加児童が増加している。地域指導者による個に応じた学習支援は、望ましい学習習慣や主体的に学ぶ態度の育成につながると考える。令和2年度には、宇和下地区を開講する。本事業を持続していく上で予算と指導者の確保が大きな課題である。</p>		

(A表)

施策	策	(3) 健やかな体の育成
評価	価	概ね順調
評価に対する分析		健やかな体の育成においては、家庭との連携が重要な要素であり、学校と家庭が相互に連携を深め、基本的な生活習慣の定着にも努めている。また、食事についても、地域食材を活用した安全安心な学校給食の提供に努め、食育の推進を図っている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	74,307
取組事業	せいよ西学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 学校給食衛生管理基準に基づく適切な衛生管理に努め、安全安心な給食の提供ができた。児童・生徒の希望を取り入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら週に米飯4回、パン1回の献立を実施した。また、年間を通して市内産食材を積極的に使用して地産地消を推進するとともに、学校と連携した給食センターの社会見学や給食試食会の実施により食育事業を推進することができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 栄養バランスに配慮した安全安心な学校給食の提供により、児童・生徒の健康増進、体力の向上を図るとともに、地産地消と連携した食育の推進に取り組むことができた。 今後も、関係機関との連携による地場産物の掘り起こしと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動も展開していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 地産地消による食育の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	30,029
取組事業	三瓶学校給食センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 学校給食法の規定に基づき、各小中学校の児童・生徒及び教育に関わる職員に対して安全安心で、栄養のバランスのとれた給食の提供を行うとともに、給食センターの円滑な運営を行う。</p> <p>【実績】 三瓶学校給食センターの管理運営を円滑に行い、安全安心な給食の提供ができた。子どもたちの希望を取り入れたリクエスト献立や、四季折々の行事食等にも工夫を凝らしながら週に米飯4回、パン1回の献立を実施し、地産地消にも配慮したおいしい給食提供ができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 児童・生徒の健康増進、体力の向上及び給食を通しての食育の推進を行うことができた。児童・生徒の健康面では、体格的にはほぼ全国平均で、健康診断でも特に問題はなく、今後も継続した予防教育や食育推進、体力づくりの推進が必要である。</p>		

(A表)

施策	(4) 郷土愛を育むふるさと教育の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>子どもや学校の抱える課題の解決や、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校と家庭、地域が連携した教育活動を推進していくことが必要である。</p> <p>学校防災教育実践モデル地域研究事業を通して、学校と家庭、地域が連携を深め、研究を推進していくことは、子どもたちの豊かな成長につながる有効な取り組みである。</p>

☆施策を推進する主な取り組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 特色ある学校づくりの推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	600
取組事業	小学校研究指定校事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>西予市立明浜小学校において、児童等を取り巻く多様な危険を捉え、児童等の発達段階や地域特性に応じた防災教育に関する取り組みを展開した。地域や関係機関との連携を推進することで、継続的で発展的な学校安全に係る取り組みを、地域と一体となって進めることができる体制を構築した。</p> <p>【実績】</p> <p>7月10日に第1回実践委員会と防災教育に関する研修会を行った。年間、研修会を7回、訓練及び防災マップ作りを7回行った。12月16日に事業報告と、今後の取り組みについての意見交換を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>話合いや訓練を通して、児童自らが避難行動や避難先を理解することができ、自分で考え率先して行動する姿勢が身についた。</p> <p>また、家庭や地域と連携が深まり、教職員や地区全体の防災意識が高まった。</p> <p>事業は終了したが、明浜小学校の取り組みを発展させるとともに、西予市内の各学校に効率よく広げていく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(5) 特別支援教育の充実
評価	順調
評価に対する分析	<p>発達障がい等のある児童・生徒一人ひとりが、より豊かな学校生活を過ごせるよう、学習環境の整備と就学支援の充実に向け、関係機関で連携を深めながら対応の充実を図っている。</p> <p>また、市内の小・中学校で必要と認める児童・生徒には、生活支援員を配置し、充実した学校生活を送れるよう個に応じた適切な支援の提供に努めている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	61,200
取組事業	小学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 小学校10校に37人の生活支援員を配置した。支援を行った児童数は合計48人であった。児童の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の児童が交流学級で授業を受ける際の支援を、必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員が関わることで、級友の対象児童理解につながっている。また、生活支援員の声かけによって、困り感のある児童の情緒安定につながっている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>		

(B表)

事務事業等	② 生活支援員の配置		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	13,834
取組事業	中学校生活支援員設置事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 発達障がい等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。</p> <p>【実績】 中学校5校に8人の生活支援員を配置した。支援した生徒は合計9人であった。生徒の学校生活の支援や、授業中のノートテイク等の補助、特別支援学級の児童が交流学級で授業を受ける際の支援を、必要に応じてきめ細やかに行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 生活支援員の関わりが、級友の対象生徒理解につながり、教室の移動など生活支援員の声かけによって、スムーズに学校生活を送ることができている。生徒のニーズが多様化する中、保護者の配置希望に対応できるよう取り組んでいきたい。</p>		

(A表)

施策	(7) 安全・安心な学校づくりの推進
評価	順調
評価に対する分析	<p>自分の命を守るために、正しく判断して行動できる子どもたちの育成に向け、防災学習の充実に学校と連携しながら取り組んでいる。関係機関との連携を深め、地域ぐるみの学校安全対策を充実させることが重要である。</p> <p>メール配信サービスは、各校を通じて広く周知され保護者の多くが利用している。不審者事案の即時情報発信のほか、台風等自然災害時における休業等の情報提供など、学校や地域の安全確保に広く貢献している。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 学校や地域の安全確保の推進		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	262
取組事業	不審者情報 メール配信 事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 西予市内で発生する不審者事案、自然災害対応等、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して情報発信を行う。</p> <p>【実績】 ・不審者情報 0件 ・自然災害対応・学校行事の変更及び園児・児童・生徒の状況(修学旅行等)等のメール配信 967件</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 不審者からの安全の確保、自然災害等への対応のためには、即時の情報発信が不可欠であり、今後も継続していく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(8) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>変化の著しい社会にあって、研修活動の充実と教職員の資質・能力の向上を図り、学校組織の活性化を図ることは、これからの社会に対応できる児童・生徒の育成に必要不可欠であると考えます。</p> <p>市所属部会や市教育研究大会は、専門職としての高度な知識・技能や総合的な人間力を高める上で有効な手段である。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 市所属部会、市教育研究大会の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	学校教育課	決算額(千円)	70
取組事業	市教育研究大会実施事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 教職員の専門性を高めるため、市内の小中学校を会場として教科等委員会による授業研究を中心とした研修と部門会による職務内容に応じた研修を行う。</p> <p>【実績】 10月30日に野村・城川地区の小・中学校を会場に13教科等の研究授業・教科等部会、4部門会を実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 市内の教職員が参集し、「豊かな心を持ち、自ら学びたくましく生きる西予の子の育成」の研究主題に沿って主体的な研修を行うことができた。学校数や教職員数の減少により、これまでどおりの実施が不可能となり、検討をした結果、令和3年度以降については宇和と宇和以外の交互開催を進めていくこととなった。</p>		

(A表)

施策	(10) よりよい教育環境づくりの実現
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>現代社会において、子どもたちを取り巻く環境が変化する中で、2校においてコミュニティ・スクールを導入し、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、学校と地域が連携・協働し、地域とともにある学校づくりを進めていくことができた。</p> <p>また、小学校再編に伴う遠距離通学的手段として、引き続きスクールバスを運行し、通学に係る教育環境整備を図ることができている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 公立学校の再編推進		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	97,717
取組事業	スクールバス維持管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>学校再編に伴い遠距離通学となった児童生徒の登下校時の安全を確保するためにスクールバスを運行する。 市所有スクールバス22台、民間車輛1台の全23台 ○明浜小：2台 ○明浜中：1台 ○野村小：7台 ○野村中：1台 ○城川小：4台 ○城川中：3台 ○三瓶小：2台 ○三瓶中：2台 ○皆田小：1台</p> <p>【実績】</p> <p>令和元年度についても、遠距離通学となる児童・生徒の通学手段としてスクールバスの運行を行った。また、より良い教育環境の整備を目的に校外学習や各種教育活動・学体各種大会等の移動手段としてスクールバスの臨時運行を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>学校再編から一定期間が経ち、スクールバスの運行においても定着してきたため、年間を通して適切な運行を行うことができている。しかし、再編当初に比べると児童生徒が減少していることもあり、バス車輛の大きさや運行路線等について、徐々に見直しが必要な時期も来ている。</p> <p>また、運行委託に関しては、慣れが生じ、事故等の発生が懸念されることから、注意喚起や指導をしていく必要がある。</p>		

(B表)

事務事業等	③ 校舎の改築及びICT設備の整備等		
成果指標	設定あり（耐震化率）		
担当課	教育総務課	決算額（千円）	619,069
取組事業	小・中学校施設整備事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 昨今における夏季の気象状況や、児童生徒を取り巻く環境の変化を踏まえ、中学校校舎に空調設備を整備し、教育環境を向上させる。</p> <p>【実績】 小中学校合わせて330室に対して空調設備の新設・更新を行った。 小学校 普通教室：101室 特別教室等：96室 中学校 普通教室：39室 特別教室等：94室</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 予定どおり工事は完了し、教育環境が整備できた。 今後の課題としては、老朽化している施設も多数存在するため、長寿命化も視野に入れ、計画的に整備・改修を行う。</p>		

(C表)

成果指標	耐震化率		
達成状況	A：達成済		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増 減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	(B) - (A)
86.1%	100%	100%	13.9%
分析・評価	小学校の統合により校舎の改築も順調に進み、平成28年度で目標とする100%を達成できている。		

(B表)

事務事業等	—		
成果指標	設定なし		
担当課	教育総務課	決算額(千円)	362
取組事業	コミュニティ・スクール推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市内全ての小中学校に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入することにより、学校や子どもが抱える課題を解決するとともに、地域を担う人材育成のために学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供の成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めるものである。</p> <p>【実績】 導入学校数：2校(多田小学校、田之筋小学校)</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 当初の計画どおり、小学校2校において学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入した。これにより、これまで以上に、学校と地域が連携・協働し、学校運営に関する協議を行ったり、学校教育における地域との連携活動を進めることができた。 今後は、2校をモデルとして、全ての学校への導入を図っていくものである。</p>		

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施策	(1) 生涯学習の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>生涯学習社会の構築と魅力ある地域づくり・人づくりの実現に向け、社会教育委員会等で生涯学習事業についての協議・意見交換を行い、ライフステージに応じて主体的に学習できる場や機会の拡充に努めた。</p> <p>今後は、子どもや若者が地域・社会へ主体的に参画してもらうよう、地域における生涯学習の機会の充実にも力を入れたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	1,475
取組事業	家庭教育支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 子育てで孤立・孤独になりがちな保護者をサポートし、子育て応援のまちづくりを進めるため、①家庭教育・子育て応援活動(事務所での相談業務)、②情報の提供活動、③学習機会の提供、④イベントの実施の4つの活動を中心とした事業展開を行う。</p> <p>【実績】 相談件数は平成30年度は7件、令和元年度も7件と横ばいである。学習会・イベントの実施は平成30年度は6件、令和元年度も6件であった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学習会への参加者の固定化や高齢化が進んでいる状況である。周知方法の工夫や会の中へ中高校生を参加させるなど先を見通した取組みが必要である。また、ネット差別の増加を防ぐための研修等の推進も重要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	928
取組事業	成人式開催事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 新成人に大人としての自覚と社会的責任を果たすことを促し、ふるさとを愛する心を育むために、祝福・激励の会を開催する(式典、記念行事等)。</p> <p>【実績】 令和2年1月3日に実施した。 ・対象者数 384人(男性185人、女性199人) ・出席者数 306人(男性150人、女性156人) ・出席率 79.6%</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 成人式で実施したアンケートでも「良かった」との高評価を得ており、今後も新成人が故郷である西予市を愛し、参加しようと思える成人式となるよう努めていきたい。</p>		

(A表)

施策	(2) 公民館活動の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	中央公民館及び24の地区公民館で、地域性や住民ニーズに即した事業を実施している。地域に根ざした活動を通して、住民の教養の向上や健康の増進、生活文化の振興等を図り、まちづくりを支える地域人材の育成に寄与している。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実																		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）																		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	1,392																
取組事業	明浜教育課・各地区公民館生涯学習事業																		
事業内容 実績・課題・今後の方向性	<p>【事業内容】 公民館を生涯学習の拠点として、各種団体や関係機関と連携を深めながら、人づくりと心ふれあう元気な地域づくりを進める。</p> <p>【実績】 明浜町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催。地域や学校と連携した生涯学習活動を幅広く展開した。</p> <p>○主な事業</p> <table border="0"> <tr> <td>青少年教育</td> <td>通学合宿、読み聞かせクリスマス会</td> </tr> <tr> <td>成人教育</td> <td>粗大ごみ回収、山あるきんぐ教室</td> </tr> <tr> <td>婦人教育</td> <td>ホウ酸団子作り、ハーバリウム講座、俳句教室</td> </tr> <tr> <td>家庭教育</td> <td>ふれあい広場</td> </tr> <tr> <td>文化教育</td> <td>産業文化祭(ふるさと芸能祭)</td> </tr> <tr> <td>社会体育</td> <td>地区民運動会、綱引き合戦、元旦走ろう会 ニュースポーツ大会</td> </tr> <tr> <td>総合教育</td> <td>狩江地区公民館振興研究大会</td> </tr> <tr> <td>高齢者教育</td> <td>クロッケー大会</td> </tr> </table> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 天候や新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、実施できなかった事業もあったが、それ以外の事業は概ね予定どおり実施できた。 今後の小規模多機能自治に向けた、地域づくり団体等、地域との協働の推進を行うとともに、急激に進む人口減少や少子高齢化を課題とした活動展開が必要である。</p>			青少年教育	通学合宿、読み聞かせクリスマス会	成人教育	粗大ごみ回収、山あるきんぐ教室	婦人教育	ホウ酸団子作り、ハーバリウム講座、俳句教室	家庭教育	ふれあい広場	文化教育	産業文化祭(ふるさと芸能祭)	社会体育	地区民運動会、綱引き合戦、元旦走ろう会 ニュースポーツ大会	総合教育	狩江地区公民館振興研究大会	高齢者教育	クロッケー大会
青少年教育	通学合宿、読み聞かせクリスマス会																		
成人教育	粗大ごみ回収、山あるきんぐ教室																		
婦人教育	ホウ酸団子作り、ハーバリウム講座、俳句教室																		
家庭教育	ふれあい広場																		
文化教育	産業文化祭(ふるさと芸能祭)																		
社会体育	地区民運動会、綱引き合戦、元旦走ろう会 ニュースポーツ大会																		
総合教育	狩江地区公民館振興研究大会																		
高齢者教育	クロッケー大会																		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	5,391
取組事業	中央公民館・各地区公民館生涯学習事業（宇和地区）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>全市を対象とした中央公民館生涯学習事業のほか、宇和町内7公民館において実生活に即した学習の場や住民ニーズに応える生涯学習事業を展開する。</p> <p>【実績】</p> <p>各公民館で地域特性や課題を生かした活動を展開し、新たな学習を取り入れた学びの機会を提供しながら、住民のニーズに応える生涯学習活動を実施した。</p> <p>地域全体で取り組む盆踊り大会や運動会などが再開されたほか、防災への関心が非常に高まっている。また、子育てサロンの取組みや放課後子ども教室など地域と連携した取組みが広がりを見せている。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 環境教育、通学合宿、放課後子ども教室 野外体験学習、防災キャンプ</p> <p>成人教育 英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室 ふる里探訪、健康教室</p> <p>婦人教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級 レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙等）</p> <p>家庭教育 料理教室、つながり学級、子育てサロン</p> <p>高齢者教育 クロッケー教室、料理教室、健康教室、手芸教室</p> <p>人権・同和教育 各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会 草の根懇談会</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>各公民館では、公民館職員の資質向上を図りながら、地域の代表である公民館運営審議員、各種団体と連携し、地域に必要な学習ニーズの把握に努めていく。学びへの参加のきっかけとなるよう、楽しさをベースとした学習活動、関心の高い学びの企画など参加者を呼び込む工夫が必要である。また多様な主体との連携や協働を推進し、熱意のある多様な人材を巻き込みながら、人づくり・つながりづくり・地域づくりにつながる取組みを推進する必要がある。今後、事業については、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に検討した上での実施が求められる。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	950
取組事業	野村教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>全町を対象とした野村教育課生涯学習事業のほか、野村町内6公民館では地域住民の社会教育・生涯学習活動の拠点として地域コミュニティづくりを推進するとともに、関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を生かした活力ある地域づくりに努める。また、それぞれの地区の今後を見据えた災害に強い地域活動を進める。</p> <p>【実績】</p> <p>住民の教養の向上、健康の増進をはじめ、地域活性化を目的としたイベントや各種講座を開催した。台風接近や新型コロナウイルス感染症の影響により、盆踊り大会や防災ウォークラリー大会（3月）等が中止となったが、復興に向けた事業が開催されるなど、地域の絆が強まった。青少年教育では、チャレンジ事業と題して自然体験をメインとした事業を行い、自主性、協調性、自立性を養うことができた。</p> <p>全地区館で公民館報を発刊し、地区内の話題提供と情報発信に努めた。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 チャレンジ事業(キャンプ、農業体験)、川まつり ヘラブナ塾、しめ縄教室、高齢者交流事業 通学合宿(野村・溪筋・中筋・大和田・横林)</p> <p>婦人教育 料理教室、地域学講座、ミニ門松づくり</p> <p>文化教育 文化祭、史談会の協力・援助</p> <p>高齢者教育 クロッケー、グランドゴルフ、地域学講座</p> <p>人権・同和教育 各小集落学習会、校区別人権・同和教育学習会 野村分会人権・同和教育推進員及び指導者研修会 野村支所課内人権・同和教育研修会</p> <p>地域づくり 地域づくり交付金事業の展開、盆踊り大会、納涼祭 さくら祭り(溪筋)、大門松事業(中筋) しだれ桜ライトアップ事業(横林)</p>		
	<p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>今後の小規模多機能自治に向けた、地域づくり団体との協働の推進を行うとともに地域づくりが必要である。</p> <p>過疎、少子高齢化が進む地域において、これからも様々な事業に挑戦し、スクラップ&ビルドを繰り返しながら、持続性のある地域を目指し、事業を推進していきたい。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	551
取組事業	城川教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 市民を対象に公民館が住民ニーズに合わせた講座やイベント等を実施し、各地区の特色を生かした社会教育事業を展開する。幅広い世代の生きがいや健康づくりの場とすることと併せて、地域活性化への取組みを進める。</p> <p>【実績】 町内4公民館において、地域の特色を生かした各種講座やイベントを開催し、各種団体、地域、学校と連携した生涯学習活動を展開した。</p> <p>○主な事業 青少年教育　しろかわっ子夢大賞 成人教育　門松設置 婦人教育　各種教室 高齢者教育　クロッケー大会、三世代交流 愛護班活動　ジオの恵みで作り隊 人権・同和教育 人権懇談会 地域づくり　奥伊予盆踊り花火大会、遊子川地区盆踊り大会</p> <p>しかしながら今年度は、PTA活動の奥伊予ジオサイクリングと、例年行われていた城川オリンピックについては、台風接近のため中止となった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 公民館は、地域の拠点施設として更に求められている。今後も各地域の課題と現状を見つめ、住民のニーズにあった各種事業、地域の活性化につながるような住民参加型の魅力ある事業を推進することが課題となっている。</p>		

(B表)

事務事業等	① 地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	1,456
取組事業	三瓶教育課・各地区公民館生涯学習事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>公民館を生涯学習の拠点として、住民が自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取組みを進める。小学校の統廃合以降、3地区公民館が協力し連携を図りながら、イベント及び講座事業を実施している。</p> <p>【実績】</p> <p>新規事業の実施や、既存事業は内容の見直しを行いながら取組みを行った。事業の告知など、SNSによる情報発信を進めており、これまで参加が少なかった若年・壮年層の受講や参加が増えつつある。</p> <p>○主な事業</p> <p>青少年教育 動物ふれあい教室、科学教室、3*3バスケット大会、農業体験学習、書初め大会、詩の教室、小学生バレーボール教室、ソフトボール講習会</p> <p>成人・婦人教育 料理教室、干支押絵づくり、陶芸教室 つるし雛飾り、なんでもセミナー</p> <p>社会体育 分館交流球技大会、レクバレー大会、健康ウォーク</p> <p>高齢者教育 高齢者学級、クロッケー大会、健康教室</p> <p>各種展示会 手作り作品展、年賀はがきコンクール作品展</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>人口減少等により生涯学習事業への参加者が減っていく中、3地区公民館合同で事業を行うことにより、住民の選択肢が増え、参加者の増加や満足度の向上に繋がっている。</p> <p>各地区公民館の特色を活かしながら、住民ニーズを的確に把握し、多様な学習機会が提供できるよう努めていく。</p>		

(C表)

成果指標	公民館運営審議会開催回数			
達成状況	C：未達成			
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増	減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	(B) - (A)	
2.3	3.0	1.8	△0.5	
分析・評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、年度末における開催ができなかったことが回数減の要因である。今後においては実施計画と事業の振り返りのほか、中間期にも開催を促し、事業の改善・反映などに取り組むよう努める。</p>			

(B表)

事務事業等	② 社会教育関係団体の育成と連携		
成果指標	設定なし		
担当課	生涯学習課	決算額(千円)	7,165
取組事業	社会教育団体育成事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 社会教育団体の育成・支援のため、運営経費の一部を補助として交付する。</p> <p>【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予国際交流協会、青年団、野村町若葉会、野村ふるさとづくりの会、三瓶町幼児教育振興協議会の計11団体に補助金を交付した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 どの団体においても、会員の減少や高齢化、活動の低迷・マンネリ化が課題となっている。活動内容を周りに幅広く知ってもらうことで増員を目指すとともに、新規事業への積極的な取組みにより活動意欲の向上と地域活性化につなげていく必要がある。</p>		

(A表)

施策	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成
評価	概ね順調
評価に対する分析	<p>市内71人の補導員による、定期的な街頭補導活動、またイベントや祭礼時の移動補導センターの開設を実施し、青少年の非行・被害防止に努めている。また、自転車通学生の点検指導や、合同補導など、学校や警察と連携した活動も展開できている。</p> <p>西予市内で令和元年中に検挙補導された少年はゼロで、平成30年より1人減少しており、県下でも少ない水準を保っている（西予地区防犯協会・西予警察署『令和元年生活安全白書』）。</p> <p>しかしながら、インターネットやSNS、スマートフォンの普及により、問題行動が表面化しにくい状況となっており、今後の補導活動の在り方にも工夫が必要であると考え。引き続き「見せる非行防止」として補導活動を実施するとともに、新しい青少年問題の情報収集、補導員への周知、指導に努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数） 設定あり（移動補導センター回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,377
取組事業	青少年補導センター運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>青少年補導員が定期的な街頭補導活動を行い、各地区のお祭りや行事等で移動補導センターを開設するなど、青少年への声かけ・指導を実施していく。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街頭補導 102回 ・出動補導員数 延べ386人 ・移動補導センター開設 18回 ・声かけ指導した少年数 256人 <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>補導委員会各支部による計画的な街頭補導を実施することができた。また、警察や学校関係機関とも連携して実施できている。今後は、インターネットやSNS、スマートフォンの普及等に起因する問題等の対処法について、補導員も理解・学習を深める必要がある。</p>		

(C表)

成 果 指 標	街頭補導回数			
達 成 状 況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	（B）－（A）	
130	130	102	△ 28	
分 析 ・ 評 価	補導回数は減少となったが、補導員による活発な補導活動が実施できている。今後も現在の青少年の状況に沿った、より効果的な活動ができるよう推進していく。			

(C表)

成 果 指 標	移動補導センター回数			
達 成 状 況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	（B）－（A）	
20	20	18	△ 2	
分 析 ・ 評 価	台風の接近や平成30年7月豪雨災害の影響によるイベントの中止でセンター設置回数は若干減少したが、多くの参加者が集まるイベントや祭礼等で移動補導センターを開設し、会場での補導活動を行い、非行や問題行動を未然に防ぐことができた。引き続き実施をしていく。			

(A表)

施策	(4) 人権・同和教育の推進
評価	概ね順調
評価に対する分析	人権・同和教育の推進において、部落差別解消推進法が施行され、この法律についての周知を図りまた意義や目的について学ぶとともに、部落差別の解消に向けた学習を進めてきた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった地区もあったが、一人ひとりが自分の問題として捉え、学習会に参加することが大切であることを認識した。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	② 人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成		
成果指標	設定あり（地区別人権・同和教育懇談会開催回数）		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	795
取組事業	人権教育推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 各地区の推進講師や推進員が指導者としての研修会を実施後、それぞれの地域で中心となり、地域住民を対象に学習会を開催している。部落差別解消推進法について周知を図るとともに同和問題を中心とした学習会を進めている。</p> <p>【実績】 各地区において、地域住民が同和問題等に関するDVDを視聴した後その感想や意見交換を行い、また部落差別解消推進法についての周知を図るとともに法律の意義や目的について理解を深めた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学習会への参加者の固定化や高齢化が進んでいる状況である。周知方法の工夫や会の中へ中高校生を参加させるなど先を見通した工夫や取組みが必要である。また、ネット差別の増加を防ぐための研修等の推進も重要である。</p>		

(C表)

成果指標	地区別人権・同和教育懇談会開催回数			
達成状況	B：概ね達成			
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	（B）－（A）	
154	154	133	△ 21	
分析・評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習会が実施できなかった地区があり開催回数が減少した。実施できなかった地区には資料の配布など何らかの方法で人権について考えることができる工夫が必要である。			

(B表)

事務事業等	③ 豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実		
成果指標	設定なし		
担当課	明浜教育課	決算額(千円)	13
取組事業	塔和子顕彰事業		
事業内容 実績・今後の方向性	<p>【事業内容】</p> <p>香川県大島正松園において、明浜町出身の塔和子さんが遺された詩を第1・第2詩選集の冊子にまとめたものを参加者に配布し、市民とともに功績を顕彰する。また、実際に入所者のお話を聞きハンセン病に関しての知識を深める。</p> <p>【実績】</p> <p>令和元年8月26日に明浜中2年生16人、引率教員2人、一般参加者等24人の計42人で香川県大島青松園に訪問し、4月に開館した社会交流会館を視察して、ハンセン病の歴史を学んだ。</p> <p>また、愛媛県出身の回復者の過去の所内での生活や苦悩を聞き、世間の病気に対する偏見をなくし差別解消のためどう行動すべきかを考えるきっかけづくりができた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>どの団体においても、会員の減少や高齢化、活動の低迷・マンネリ化が課題となっている。活動内容を周りに幅広く知ってもらうことで増員を目指すとともに、新規事業への積極的な取組みにより活動意欲の向上と地域活性化につなげていく必要がある。</p>		



大島青松園にて



4月に開館した社会交流会館を視察

(A表)

施策	(5) 図書館活動の推進
評価	概ね順調
評価に 対する 分析	<p>図書交流館まなびあんが新館オープンし、貸出人数は（市内全館で）平成30年度の41,571人から53,876人、貸出冊数は153,873冊から186,553冊と増加した。四国西予ジオミュージアムの整備に伴う西予市総合センターしろかわの廃止により「城川分館」が廃止となったが、依然各地域に分館があることで、地域全域サービスが実施できている。特に移動手段（車）の無い高齢者、子どもにとっては身近な図書館が必要である。教育・生涯学習機関としての図書館を基盤として、今後一層市民生活をサポート・地域づくりに貢献する図書館として機能を高めていく。なお、自館だけでは調達、解決できない資料提供やレファレンスサービスには、全国の図書館ネットワークを活用し、依頼に応じている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	① 読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	504
取組事業	ブックスタート事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>0歳児（4カ月児）健診の機会に絵本をプレゼントする事業である。乳児と保護者が、絵本を介して心触れ合う時間を持つきっかけをつくる。重ねて、3歳児健診時にも絵本（5種類の中から1冊）をプレゼントし、小学1年生には「1年生のほんだな」の中から推薦図書を紹介したリーフレットを配布、読書習慣がつくよう継続的に実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>関係各課の協力を得て、0歳児及び3歳児、小学1年生に対して漏れなく事業を実施できた。0歳児:198人、3歳児:190人、1年生:236人。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>関係課（健康づくり推進課、支所生活福祉課、学校教育課）との連携により育児支援、家庭教育支援につながっている。豊かな情操を育む読書生活のスタートとなる大切な事業である。子ども読書推進計画に沿って読み聞かせ活動の充実、ボランティア育成などで多角的に同事業をフォローする。</p>		

(B表)

事務事業等	② 図書館サービスの充実		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））		
担当課	生涯学習課	決算額（千円）	1,988
取組事業	図書館電算システム管理事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>図書館システムを活用し、データ作成と検索の利便性向上、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p>【実績】</p> <p>図書館システムと連動したOPAC（ホック：オンラインパブリックアクセスカタログ：オンライン蔵書目録）のアクセス数【館内OPAC→自動検索機】【WEBOPAC利用】【携帯電話OPAC】【スマートフォンOPAC】も494,875件と日常的な環境となり、必要とされている。「図書館システム」の活用により、図書館業務全般も順調に実施できている。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>図書館システムを使ったサービス業務や閲覧を行う利用者が増えている。まなびあんでは新館オープンに伴い資料のIC化を実施、自動貸出機、自動検索を導入し、資料の借りやすさにつながった。また今後、図書館システムと連携した「図書館ホームページ」において、各種発信、情報提供にも努め、来館促進につなげる。家庭でのオンライン活用における生活、仕事スタイルも加速しているため、時代にみあったサービスの開拓に努める。</p>		

(C表)

成果指標	利用者数（図書を借りた人数）		
達成状況	A：達成		
基準値（A）	目標値	実績値（B）	増減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	(B) - (A)
43,801	48,000	53,876	10,075
分析・評価	<p>図書交流館まなびあんがオープンしたことにより利用者が増加した。図書館滞在者（図書の借入はしない）や交流施設の利用者も含めると、来館者はさらに増加している。自動貸出機や自動検索機導入による利便性向上効果も大きかった。サービス向上に関する利用者の要望は増しており、それに応じた取組みが必要である。市外からの来館者についても、今後も伸びるよう工夫をこらしたい。</p>		

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施 策	(1) 文化財の保護と活用
評 価	順調
評 価 に 対 析 す る 分 析	<p>令和2年2月に明石寺境内と大寶寺道が国史跡・伊予遍路道に追加指定された。</p> <p>また極楽寺木造阿弥陀如来坐像（県指定）の修理が完了したほか、市内の茶堂で香川大学主催のかやぶき講座が行われるなど新たな保存活動も展開されている。新型コロナウイルス感染症の影響で限られた回のみであったが、歴史文化講演会の開催やホームページでの情報発信など普及啓発にも取り組んでいる。引き続き文化財の保護と活用を計画的に進めるとともに防災の意識向上にも努めたい。</p>

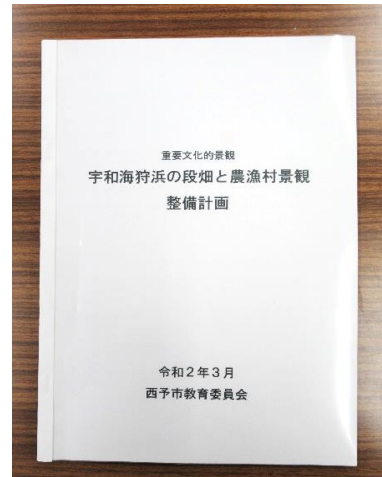
☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成 果 指 標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	5,730
取 組 事 業	文化財保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内に所在する文化財の価値を洗い出し、市文化財保護審議会の意見をもとに指定したうえで、保存修理や防災防犯対策を講じることで適切に保存する。あわせて講演会等を通じて文化財の価値を広く市民と共有するほか、文化財の活用を図ることで、市民の文化的向上に資する。</p> <p>【実績】</p> <p>極楽寺木造阿弥陀如来坐像（県指定）の保存修理、五つ鹿の古面修理（市指定）、山田薬師山門（市指定）の維持管理に影響を及ぼす恐れのある危険木の撤去、金剛寺の夫婦銀杏（市指定）の剪定に対して補助金を支出した。</p> <p>戦争をテーマに企画した歴史文化講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響で第1回のみ開催となった。</p> <p>茶堂は、香川大学主催のかやぶき屋根のふき方講座による安尾茶堂改修のほか、阿下お堂改修に補助金を支出した。</p> <p>このほか、明浜歴史民俗資料館の資料整理や館内の清掃及び展示の整理を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>文化財の保護と活用に関する総合的な計画の作成に取り組むほか、指定文化財の保存修理等の支援、茶堂の維持管理、明浜歴史民俗資料館の展示の見直しなどに取り組む。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	6,543
取組事業	文化的景観保護推進事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>狩浜地区の文化的景観の価値を正しく評価し、地域で守り、次世代へ継承するため、文化財保護法に規定された保護制度を運用し、保護・活用する。</p> <p>文化的景観保護審議会の下、昨年度策定した保存活用計画に基づき保存・整備・活用のための整備計画を策定した。整備計画策定にあたっては、地元の意見を反映するため住民説明会を開催し地元住民との意見交換を行った。</p> <p>また、重要文化的景観選定を記念し、文化的景観の価値の浸透及びこれを活かした地域づくりを目的にしたシンポジウムの開催、景観保存会設立に向けた準備会を定期的に開催した。</p> <p>【実績】</p> <p>①保護審議会（5回：8月、9月、12月、2月、3月） ②整備計画住民説明会（9月13日） ③選定記念シンポジウム（9月29日） ④整備計画策定（3月） ⑤文化的景観保存会設立準備会（8回：7月、8月、9月（2回）、10月、11月、1月、2月） ⑥春日神社建築準備委員会（7回：4月、6月、8月、11月（2回）、1月、3月）</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>保存・整備・活用に向けた整備計画の策定、重要文化的景観選定を記念したシンポジウムの開催、文化的景観保存会設立に向けた準備会の定期開催による保存会設立の気運が高まるなど事業の成果があった。また、令和2年度に整備計画している春日神社の建築準備委員会へ出席し、地元との情報共有及び整備に向けた体制が整えられた。</p> <p>今後は、整備計画に基づいた初動期の整備、保存会の設立、地域づくりへの活用が課題となる。対応として、価値の共有を図り、それを着実に守る事業と住民が魅力を感じる事業の整備を図る。また、保存会の早期設立を図り、保存・活用に向け既存団体との連携を図りながら地域づくりへつなげていく。</p>		



極楽寺木造阿弥陀如来坐像（県指定・修理後） 宇和海狩浜の段畑と農漁村景観整備計画

(B表)

事務事業等	① 文化財・文化遺産の保護と活用		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	15,488
取組事業	埋蔵文化財発掘調査事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財保護の基盤を整備し、開発への対応を行う。西予市の重要遺跡について、保存と内容把握を目的とする試掘確認調査を行う。加えて、坪栗遺跡（宇和町山田）出土遺物の整理作業を進める。</p> <p>また、「四国八十八か所霊場と遍路道」の世界遺産化の動きの中で、歴史の道の調査を行い国史跡の指定を目指す。</p> <p>【実績】</p> <p>小森古墳（宇和町山田）を重要遺跡として位置づけ、引き続き試掘確認調査を行った。小森古墳円丘部北側斜面の調査で、古墳の墳裾を確認し、遺物が多数出土した。</p> <p>歴史の道について、宇和島街道鳥坂峠越（宇和町久保）について、測量委託および試掘確認調査を行った。</p> <p>これらに加え、平成29～令和元年度の国庫補助事業分の調査について、報告書を作成・刊行した。</p> <p>整理作業では、上記遺物の他、坪栗遺跡の遺物の整理を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>今後は分布調査を継続しつつ、引き続き小森古墳の試掘確認調査に重点を置いて継続的に調査を行う。歴史の道調査では、宇和島街道鳥坂峠越の意見具申を目指す。</p>		



小森古墳円丘部北側斜面 試掘確認調査



宇和島街道鳥坂峠越 測量委託

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	明浜教育課	決算額（千円）	176
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定有形無形文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○俵津夏祭り協賛 文楽特別公演（7/13） ○明浜中学校文楽指導（9月中旬～11月上旬）9回 ○第60回愛媛県指定無形民俗文化財文楽合同公演大会（12/8） ○黒松内町との交流（1/9） ○明浜小学校文楽教室（1月中旬～2月下旬）9回 ○文楽人形展示（俵津地区産業文化祭）（2/1・2） <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>県の民俗文化財に指定されている俵津文楽は嘉永5年（1852）に浄瑠璃による人形芝居を若者に習わせたことに始まった。この文楽が町内にあることで地域の活性化が図られている。地域や座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いているが、座員は高齢化しつつあるため、新規座員の確保が今後の課題である。</p>		

(B表)

事務事業等	② 文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	245
取組事業	文楽保存伝承活動事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 愛媛県指定有形無形文化財である朝日文楽の保存伝承活動事業。こども朝日文楽クラブの募集をし、月2回程度練習を行って後継者育成を図る。</p> <p>【実績】</p> <p>人間国宝で人形浄瑠璃文楽人形遣いの吉田和生さん（野村町出身）を招いて行われた「子ども文楽交流会」に参加し、指導を受けた。また、定期公演、三瓶町文化祭に参加し、練習の成果を発表した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>こども朝日文楽クラブで教えを受けた児童、生徒が、将来朝日文楽のメンバーとして文楽を受け継ぐような体制づくりが求められる。組織体制の強化及びサポート体制の構築を実現するために、朝日文楽の披露の場を増やし、保存会員の確保を図るとともに、後継者の育成も必要である。また、人形、衣裳等の修繕も必要であり、文楽会と協議し計画的な修繕を行っている。</p>		

(C表)

成 果 指 標	文化財を見に行ったことのある人の割合			
達 成 状 況	D：不明			
基準値 (A)	目 標 値	実績値 (B)	増	減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	(B) - (A)	
70.9%	75.0%	-	-	
分 析 ・ 評 価	令和元年度はまちづくりアンケートを実施していないため実績値は出せないが、極楽寺木造阿弥陀如来坐像や茶堂等文化財の保存修理を行うとともに、人間国宝の吉田和生さんを招いて文楽講演会を開催し、市民の文化財に対する関心の向上につながった。			

(A表)

施 策	(2) 文化の振興
評 価	概ね順調
評 価 に 対 析 す る 分	<p>西予市内の中学生が長野県松本市の異文化に触れることで新たな創造性が生まれ、両市の中学生同士の交流が友情を育んでいる。これらの経験が豊かで創造的な青少年の健全育成につながっている。</p> <p>伝統芸能をはじめとする文化活動の取組みは、高齢化や後継者不足など課題は多いが、行政主体で進められてきた取組みは、実行委員会形式等で自分たちが主体的に関わる意識が芽生えてきた。今後も、市民が幅広く文化に親しむことができる環境を充実させていくことに努めたい。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成 果 指 標	設定なし		
担 当 課	三瓶教育課	決算額 (千円)	2,100
取 組 事 業	宮中雲子音楽祭補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>西予市出身の詩人宮中雲子先生の、第8回サトウハチロー賞受賞を記念して、平成10年度から合唱コンクールを開催している。コンクール部門（少年少女の部・一般の部）及びフェスティバル部門（無審査、講評有）で構成し、市内外からの参加者を募っている。コンクール部門では上位3団体を表彰する。</p> <p>【実績】</p> <p>令和元年度はコンクール部門で10団体、フェスティバル部門で5団体(個人)の参加があった。県内外の高いレベルの団体の参加により、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図られている。県内外からも注目されており、人気のある音楽祭となっている。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>県内外で人気のある音楽祭となっており、合唱の発表の機会を西予市が提供することで、市のイメージアップにつながっている。一方で小・中学校、高校の参加が減少傾向にある。また、市内の参加団体が少ないことから、各団体の代表者に精力的に働きかけ、理解を求めるなどの対応が必要である。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化の継承、次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし		
担当課	スポーツ・文化課	決算額(千円)	1,001
取組事業	開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>旧開智学校と開明学校の姉妹館提携を記念して、西予市の中学2年生20人(各校代表)が松本市を訪問し、松本市の中学生との交流を深めるとともに、西予市にない文化や自然に触れる体験をする。</p> <p>【実績】</p> <p>7月29日から8月2日の4泊5日の日程で青少年派遣事業を実施した。中学生同士の交流と親睦を図るとともに、松本市の教育・文化施設に触れた。松本城公園での西予市PR活動や乗鞍高原での自然体験及び塩尻市の重要伝統的建造物群保存地区の町並み保存研修を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>松本市の教育文化に触れ、見識を深め、中学生同士の交流を行うことにより、豊かで創造的な青少年の育成を図ることができた。よりよい中学生同士の交流とするため、内容や交流時間について両市が今後も協議を進める必要がある。</p>		



旧開智学校模擬授業



西予市PR活動

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	457
取組事業	文化振興事業（ふるさと芸能祭補助事業）		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>西予市文化協会宇和支部に加盟する団体を中心に組織する実行委員会主催で、宇和地区の舞台芸術、伝統芸能の発表を行うほか、体験教室を実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>11月2日に、琴城流藤弥会田之筋教室（大正琴）、フォークダンス愛好会（フォークダンス）による体験教室を実施し、計30人の参加者があった。11月3日には宇和町ふるさと芸能祭を実施し、20団体が発表を行った。今回は新たに野村吟詠会宇和支部（吟詠）、スマイルハーモニー（ハーモニカ）が出演した。当日は、最大200人、延べ400人程度の来場者があった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>最近の課題として、①若い世代の参加増、②観覧者が求める発表、③市民への文化の魅力発信が挙げられる。これらに対応するため、近年新たな団体の参加を図っているところである。来場者は昨年並みであったが、ここ3年はそれ以前と比べ100人程度の減となっている。今後、新たな団体、若い人々を取り込んだ団体間の交流を図るとともに、いっそう市民への宣伝に努める必要がある。</p>		



体験教室（大正琴）の様子



宇和町ふるさと芸能祭（野村吟詠会宇和支部）

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	16,300
取組事業	全国かまぼこ板の絵展覧会事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 かまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品の選考を実施。7月13日から12月1日まで第25回全国「かまぼこ板の絵」展覧会をギャラリーしろかわで開催。応募作品はすべて展示。</p> <p>【実績】 全国47都道府県及び海外からはインドネシア等から応募があり、15,581人から8,201点の作品が寄せられた。 122日の期間中（7月13日から12月1日）、入館者は6,585人だった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 応募点数が前年に比較して減少した。高齢化、人口減少に伴う応募数の自然減は今後も避けられないため、事業の転換期にあることを意識しながら新規応募者への応募呼びかけや事業運営を行う。</p>		



第25回全国「かまぼこ板の絵」展覧会の様子

(B表)

事務事業等	② 文化芸術、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
担当課	城川教育課	決算額（千円）	600
取組事業	奥伊予ふるさと祭補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>11月の第2土曜日に開催する「奥伊予ふるさと祭」は、城川地域の産業文化と芸能文化を合わせたイベントである。奥伊予城川の産業開発の歴史と、文化・芸能振興による成果を発表し、地域の活性化を図りながら市民の生きがいをづくりを目的としている。平成30年より1日のみの開催となった。</p> <p>【実績】</p> <p>文化展のメイン会場である総合センターしろかわでは、文化協会城川支部加入団体の作品展示や芸能発表会を行った。また、JAを主会場にした産業展では産業振興の展示発表や各種団体の特色ある多彩なイベントを開催し、祭を盛り上げた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>1日に集約することで祭典の活性化を図ったが、近隣市町のイベント参加や少子・高齢化により客数が減少傾向にある。関係団体が工夫を凝らした展示やイベントを開催しながら、産業文化祭の魅力を発信しているが、客層が変化し参加者が減少している。今後は支所周辺の開発に合わせた新しい取組みを考えなければならない。</p>		



文化協会発表（コーラス）



奥伊予ぎゅうニバル

(C表)

成 果 指 標	芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合			
達 成 状 況	D：不明			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増 減	
平成24年度	平成30年度	令和元年度	(B) - (A)	
17.9%	20.0%	-	-	
分析・評価	令和元年度はまちづくりアンケートを実施していないため、実績値は出せないが、文化協会等把握している文化団体においては、若い世代の参加において伸び悩んでいる状況である。文化活動内容の発信強化や、市民が文化に触れる機会の提供が必要である。			

(A表)

施 策	(3) 文化活動の環境と基盤の整備
評 価	概ね順調
評 価 に 対 析 す る 分	<p>市内2つの文化会館は共に平成2、3年度に開館し老朽化が著しい。施設内の設備を改修することで、利用しやすい施設環境となり来客者の増加を図っている。</p> <p>令和元年度、宇和文化会館では舞台音響設備の第2天井反射板変角マシンの改修、三瓶文化会館ではエレベータや音響パッチ盤修繕等を実施した。利用者が安心して文化活動に取り組むことができる環境づくりが利用者の増加につながると思われる。今後も改修計画を立て緊急性の高い箇所から整備を進めていく必要がある。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 文化施設の整備・充実		
成 果 指 標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	38,460
取 組 事 業	宇和文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】</p> <p>平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受託、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理している。この指定管理者に対して、文化会館管理運営委託料を支出するものである。</p> <p>【実績】</p> <p>令和元年度は舞台音響設備第2天井反射板変革マシンの改修を行い、点検報告書による不具合箇所等を参考に今後の改修計画も立てた。イベント事業としては自主事業を5公演、共催事業を7公演実施し7,617人を集客した。貸館利用では、年間798件、31,338人の利用促進につながった。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】</p> <p>老朽化した施設の改修を計画的に実施し、令和2年度から舞台の吊物機構の改修を予定している。今後も定期点検報告書により、緊急性の高いものから改修し、安全安心を確保しながら利用者の増加につなげる。</p> <p>文化事業は鑑賞型をはじめ、市民参加型事業も積極的に展開し定着している。</p>		

(B表)

事務事業等	① 文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
担当課	三瓶教育課	決算額（千円）	93,183
取組事業	三瓶文化会館管理運営事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 三瓶文化会館の維持管理及び運営を行う。施設利用は予め1週間前までに申請書を提出後、教育委員会の許可を受け利用する。最長半年先まで申請可能。利用料金(減免含む)は、西予市三瓶文化会館条例第10条に規定されている。 開館時間 午前9時00分から午後10時00分まで 休館日 12月28日から翌年1月4日まで</p> <p>【実績】 令和元年度利用実績は延べ24,011人。コンサート、生涯学習教室、各種イベント、図書館、プラネタリウム等多数の市民に利用いただいた。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 平成2年の開館以降、年々利用者は減少傾向にあるが、修繕など維持経費が増加傾向にある。今後貸館を停止するような緊急事態の無いよう計画的に優先順位をつけ修繕等を行い、多くの市民に利用いただけるよう努める。</p>		

(C表)

成果指標	施設や展示物の満足度		
達成状況	D：不明		
基準値(A)	目標値	実績値(B)	増減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	(B) - (A)
23.8%	25.0%	—	—
分析・評価	令和元年度はまちづくりアンケートを実施していないため、成果指標の実績値は出せないが、施設の利用者数は前年度に比べ増加した。今後も計画的に施設の改修を行い施設の利便性の向上を図るとともに、展示内容や催し物の充実を図りたい。		

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(A表)

施 策	(1) スポーツの普及・推進
評 価	概ね順調
評 価 に 対 析 す る 分	スポーツ協会やスポーツ推進委員協議会、スポーツクラブと連携し、スポーツイベントを開催することで、市民がスポーツに親しむことのできる機会の増加を図ることができた。今後も、市民がスポーツに親しむことで、相互の親睦・交流を深め、健康・体力の保持増進につなげたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事 務 事 業 等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成 果 指 標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担 当 課	スポーツ・文化課	決算額（千円）	150
取 組 事 業	総合型スポーツクラブ補助事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型地域スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>【実績】 令和元年度実績は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかめスポーツクラブ 50千円 ・のむらスポーツクラブ 50千円 ・文化の里スポーツクラブ 50千円 <p>【評価・今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指すとともに、市民の健康増進に向けてのきっかけづくりが進んでいる。今後も、次世代を担う青少年の体力向上及び人格形成、地域交流を促進し、体育振興に大きな役割を果たす総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p>		

(B表)

事務事業等	① 生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
担当課	野村教育課	決算額（千円）	1,446
取組事業	朝霧湖マラソン大会支援事業		
事業内容 実績 課題・今後の 方向性	<p>【事業内容】 毎年5月3日（祝）開催で、コースはハーフマラソンと10kmロードレースの2コース。定員は災害の影響により乙亥会館が使用できないこと、コースの一部が崩落し狭小となっていることから3,000人から2,000人に変更。 西予市ホームページや公式Facebookで、大会の魅力を情報発信している。大会スタッフは、実行委員会のほか、地元住民や中高生にボランティアを呼びかけ運営にあたっている。 全国からのランナーや観光客を受け入れており、地元住民との交流を図り、地域活性化や生きがいづくりにも寄与している。</p> <p>【実績】 第28回四国せいよ朝霧湖マラソンを開催。全国から2,108人の申し込みがあり、1,892人のランナーが参加した。 公式Facebook（H30.6.1～R1.5.31）での、投稿回数は107件、総“いいね”数は16,493件、ニュースフィードのプレビュー最高は5,956件と情報発信の強化を図った。また、マスメディアへのプレスリリースを活用した情報発信にも努めた。 今大会は各種メディアでも報道（放映）していただいた。 ランナーの中での朝霧湖マラソンの認知度は高まってきている。申込期日を2月28日としていたが、申込期日前に定員の2,000人に達したため、申し込みを締め切った。 地元においても本大会はGWの風物詩として定着し、多くの方が沿道で応援されており、ランナーにおいても年間を通して試走をされる方が多くなってきている。特に3月、4月は顕著であり、延べ数百人のランナーが試走をされている。 また多くの中高生がボランティアスタッフとして参加することで、地域イベントを通じて、地域の方とのふれあいの機会が増えるとともに、主体性、奉仕の心を育むことができ、次世代を担う人材育成にも寄与している。 ランネットにおける総合評価が82.2点（前年比+5.1点）、総合順位も68位と高評価だったにも関わらず、全国ランニング大会100撰は惜しくも逃すこととなった。しかしながら、コメント内容は肯定的（賛辞）な意見が多かった。特に中高生ボランティアに対する賛辞が多く、満足度は高かったと思われる。運営組織は充実しており、各係では長年スタッフを担っている方が多く、自主的、計画的にスペシャリストとして責任と誇りを持って業務にあたっている。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 大会における参加者満足度や大会を通しての人材育成に貢献できている。また全国的にも知名度の高い大会になってきている。今後は、さらに情報発信力を高めて、さらなる認知度を上げていき、大会の質も高めてより良い大会を目指す。エントリー業者の検討を行い、全国ランニング大会100撰に再び選出いただけるよう、関係各位と協議していきたい。</p>		

(C表)

成 果 指 標	市民の週1回以上のスポーツ人口率			
達 成 状 況	B：概ね達成			
基準値（A）	目 標 値	実績値（B）	増	減
平成24年度	平成30年度	令和元年度	（B）－（A）	
26.0%	50.0%	—	—	
分 析 ・ 評 価	<p>第2次西予市スポーツ振興計画策定に向け、市民アンケートを実施した結果（20歳から90歳未満の約3,000人対象）では、成人の週1回以上スポーツ活動を実施している人は約4割だった。成人以下の市民を含めると、概ね達成していると判断する。今後一層、行政と関係団体とが連携を図り、市民が気軽にスポーツ活動に参加できる環境づくりに取り組む必要がある。</p>			

V 学識経験者の意見及び西予市教育委員会の今後の取組の方向性

1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(1) 確かな学力の育成

【学識経験者の意見】

(生徒国際交流事業)

生徒国際交流事業については、非常に良い事業である。本当に生徒にとっては、一生忘れられないような事業で、今後の自分の生き方にすごくプラスになるので継続していただきたい。

長年にわたりこの事業を行っているので、事業に参加した者の追跡調査をし、国際交流関係の仕事に就いているとか、地元に残ってこんなことをしているなど事業の効果が分かればなおよい。

《今後の取組の方向性》

(生徒国際交流事業)

生徒国際交流事業について、引き続き継続するように予算要求は行っていく。追跡調査については、平成 27 年度に実施して以降行っていない状況であるため追跡調査を実施するよう検討したい。

(3) 健やかな体の育成

【学識経験者の意見】

(せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業)

「市内産食材を積極的に使用して地産地消を推進する」とあるが、食育計画には概ね 30% の率で地産地消を進めるようになってきていると思うが、地産地消についての努力もしていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(せいよ西学校給食センター運営事業・三瓶学校給食センター運営事業)

関係機関との連携による地場産物の掘り起こしと積極的な使用に努め、地産地消の推進を図るとともに、地場産物を活用した食育活動も展開していく。

2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(5) 図書館活動の推進

【学識経験者の意見】

(図書館活動の推進 (施策))

図書館の指定管理の検討はあるのか。

宇和と野村に素晴らしい図書館を建てたが、旧 5 町の図書館も足並みをそろえて差が出ないように事業を進めていただきたい。

《今後の取組の方向性》

(図書館活動の推進 (施策))

県内では、2か所ぐらい指定管理があるが、当市も研究の必要はあると受け止めている。九州の方では完全な民間企業に指定管理をされているところもあるが、指定管理となる際にはいろいろ問題もあったとも聞いている。今治市のように図書館に精通した機関が指定管理として委託できるのであれば、事業が進みやすいと思う。人員や雇用のことを含めて検討していきたい。

市民の図書館利用の条件の地域格差は是正に努めなければならないが、図書館施設の周辺に一定の人口が固まる宇和、野村、三瓶地域に比べ、城川、明浜の両地域は地域内のどこに「図書館」を設置しても利用者は車による移動が必須となる。このような地理的な差や人口比、利用率などを踏まえてどのような展開が適切か検討していく。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(1) 文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

(文化財の保護と活用 (施策))

文化財といとなかなか地味なところがあり、一般市民の方が文化財に興味を持つことが難しい。少しでも文化財に興味関心を持ってもらうような取り組みをしていかなければ、みんなで文化財を守っていこうという意識が高まってこない。西予市にはたくさん文化財があるので、少しずつでも表示看板の更新や、いろいろな機会でも広報・PR活動を行ってもらいたい。

また、四国西予ジオパークとの絡みもあって、ジオサイドと文化財がリンクしているところはよいが、それ以外で単独の文化財になっているところへの対応も必要ではないか。

《今後の取組の方向性》

(文化財の保護と活用 (施策))

文化財の滅失・散逸の危機を防ぐことを目的に、平成30年に文化財保護法が改正され、市町村が「文化財保存活用地域計画」を作成し、国がこれを認定することが制度化された。西予市でも、国の認定へ向け3カ年で「文化財保存活用地域計画」を作成することとし、令和2年度から着手し、計画的・継続的に文化財の保護活用を図っていく。また、広報・HPの活用や歴史講演会の開催により、市民に文化財に興味を持っていただくように継続的に取り組んでいく。

4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの振興

(1) スポーツの普及・推進

【学識経験者の意見】

(総合型スポーツクラブ補助事業)

スポーツクラブは、3つの組織だけとなっているのか。

《今後の取組の方向性》

(総合型スポーツクラブ補助事業)

当初は旧5町での設立を目指していたが、人口の少ない明浜町や城川町ではスポーツ協会やスポーツ推進委員協議会との構成員が重なってしまうことや、市のスポーツの推進に係る新たな組織体制を作る必要性が問われた経緯もあり、現在、市内に3つのスポーツクラブとなっている。スポーツクラブがない地域では、近隣のスポーツクラブの活動に参加しているケースもある。

のむらスポーツクラブは、会員数が約350人おり、活発に活動していただいている。平成28年度から令和元年まで、健康づくり対策支援事業を市からのむらスポーツクラブに委託し、高齢者を対象に健康教室が実施された。令和2年度からは、児童・生徒の運動機会の充実を図ることを目的に、「ジュニアスポーツサポート事業」を市から委託している。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp